




東京都の経済情勢報告

令和3年10月27日
財務省関東財務局
東京財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 総論

【総括判断】「都内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下で緩やかに持ち直しつつある」










項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下で緩やかに持ち直しつつある	

（注）3年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費及び産業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある	
産業活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある	
製造業	持ち直している	持ち直している	
非製造業	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まっている	
設備投資	3年度は増加見込みになっている	3年度は増加見込みになっている	
企業収益	3年度は増益見込みになっている	3年度は増益見込みになっている	
企業の景況感	現状判断は、「下降」超幅が縮小	現状判断は、「上昇」超に転じる	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向を注視する必要がある。

2. 各論

■ **個人消費** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある」

コンビニエンスストア販売額は前年を上回っている。百貨店販売額等は前年を下回っているものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。このように、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 国内新規感染者の大幅減少に伴い、9月後半ぐらいから入店客、売上とも僅かながら回復してきており、10月に入ってから、今まで低迷していた化粧品や衣料品の売上が回復している。(百貨店・大企業)
- 7-9月期は、巣ごもりによりぜいたく品を買って自宅で食事をする傾向が続いていることから、黒毛和牛、焼肉セット、シャインマスカットなどが好調で、売上も計画を上回って推移している。(スーパー・中堅企業)
- 8月は感染者数の拡大に加え、長雨や気温が上がらなかったことから飲料やアイスの販売が不調であったが、10月に入ってから、客数・売上は上向き傾向にあり、昨年を上回っている。(コンビニエンスストア・大企業)
- 7-9月の売上は、ワクチン接種後に服用する解熱鎮痛剤やPCR抗体検査キットなどの販売が好調で前年を上回っており、10月は緊急事態宣言が解除され営業時間が伸びていることから18時以降の売上がプラス20~30%となるなど好調となっている。(ドラッグストア・大企業)

■ 産業活動 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある」

製造業は、情報通信機械等で増加しており、持ち直している。一方、非製造業は、感染症の影響により、生活娯楽関連サービス業等で弱含んでいたが、足下で緩やかに持ち直しつつある。このように、産業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいたが、緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 半導体製造装置は、受注の勢いが旺盛で、生産が追い付かない状況。夜勤も含めてフル生産を続けているほか、子会社の工場での生産や、既存工場内のスペース確保のため外部の倉庫を借りて増産を行っている。(生産用機械・大企業)
- 自動車をはじめとする製造業が回復しているほか、テレワークの普及によるモバイル通信端末、5Gサービスの本格化による通信インフラ事業の需要が堅調であり、システムインテグレーション事業(情報システムの構築を請け負うITサービス)全体で好調となっている。(情報通信・大企業)
- ワクチン普及に加え、緊急事態宣言等全面解除が追い風となり、秋シーズンの予約件数は、9月下旬時点で上旬の倍、10月に入ってさらに倍増している。(旅行・大企業)
- 9月の売上は2年前の2割未満であったが、10月には緊急事態宣言が全面解除されたことから、客数・売上とも2年前の5割超まで回復した。(飲食サービス・大企業)
- 感染の再拡大により、東京都は緊急事態宣言期間が続き、不要不急の外出や都県境を跨ぐ移動・旅行が自粛要請をされる中で、観光バスコースについては殆ど運行ができない状況であったが、10月に入って、宣言が解除されたことから運行数を増加し、予約件数も伸びている。(運輸・中堅企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まっている」

完全失業率は上昇しているものの、有効求人倍率も上昇している。このように、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まっている。

(主なヒアリング結果)

- 生産が増加しており、人手は恒常的に足りていないが、工場の交通の便が良くないため、採用に苦慮している。(製造業・大企業)
- 緊急事態宣言の解除を見込んで9月半ばからアルバイトの募集を実施しているものの、休業期間中に店舗のアルバイトを多く失ってしまったため、営業再開しても人手不足が続いている。(飲食サービス・大企業)

■ 設備投資 「3年度は増加見込みになっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 3年度の設備投資計画は、製造業では前年比19.5%と増加見込み、非製造業では同7.5%と増加見込みになっており、全産業では同10.9%と増加見込みになっている。

■ 企業収益 「3年度は増益見込みになっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 3年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比18.0%と増益見込み、非製造業では同13.2%と増益見込みになっており、全産業では同14.7%と増益見込みになっている。
- これを規模別にみると、大企業、中堅企業、中小企業いずれも増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「現状判断は、「上昇」超に転じる」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。先行きについては、「上昇」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数の足下の動きを均してみると、持家、分譲住宅は前年を上回っているものの、貸家は前年を下回っている。

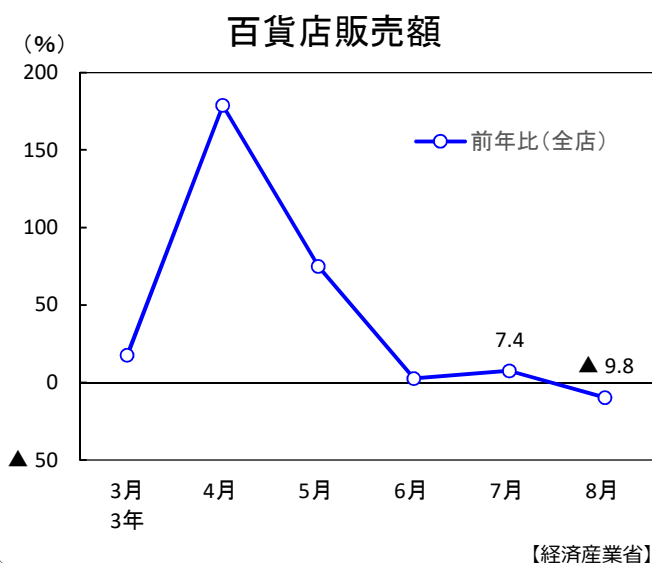
東京都の経済情勢報告

資料編

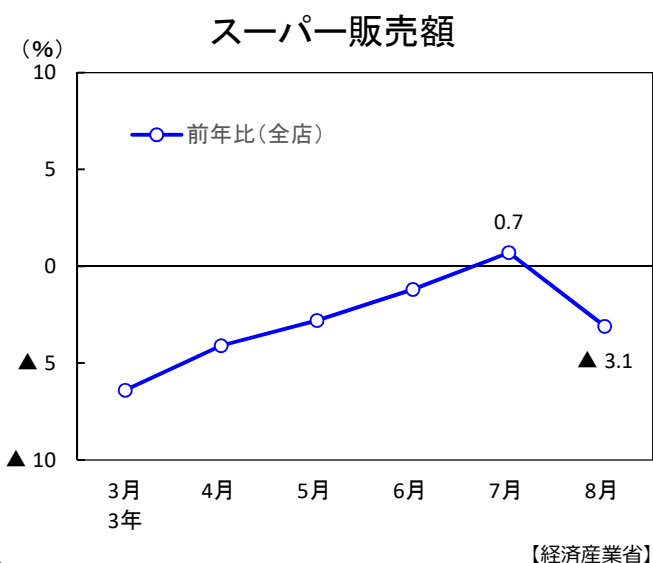
※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

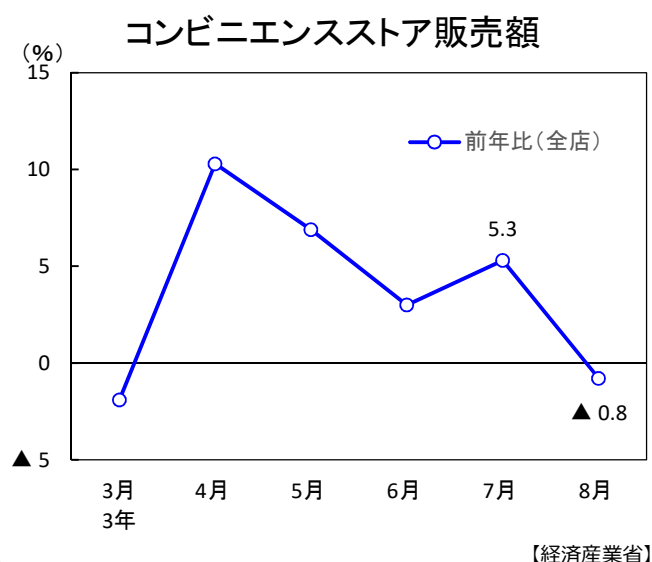
【グラフ1】



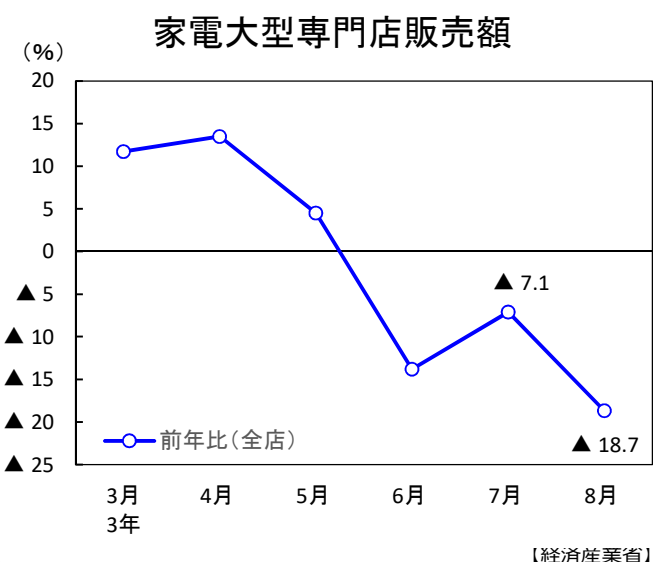
【グラフ2】



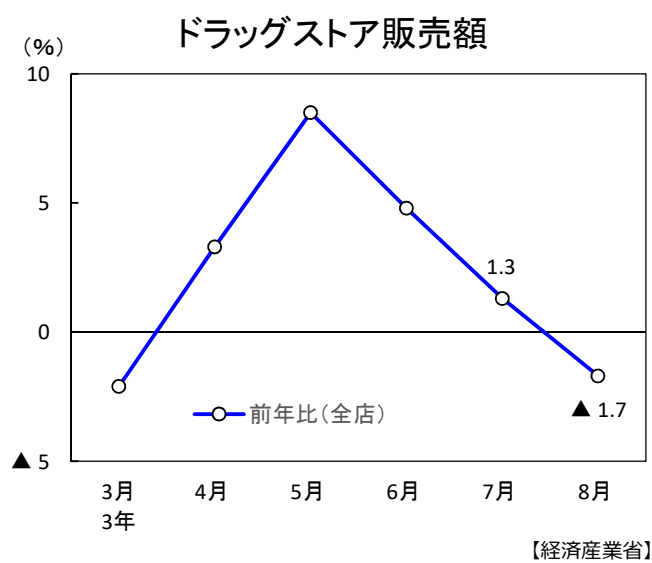
【グラフ3】



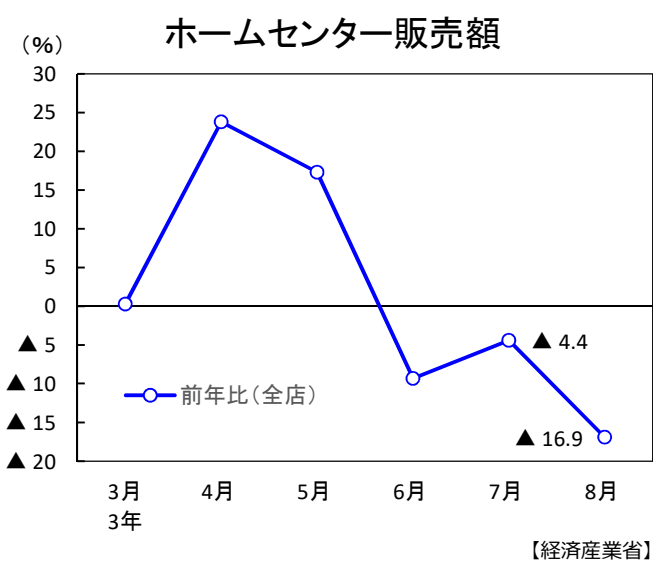
【グラフ4】



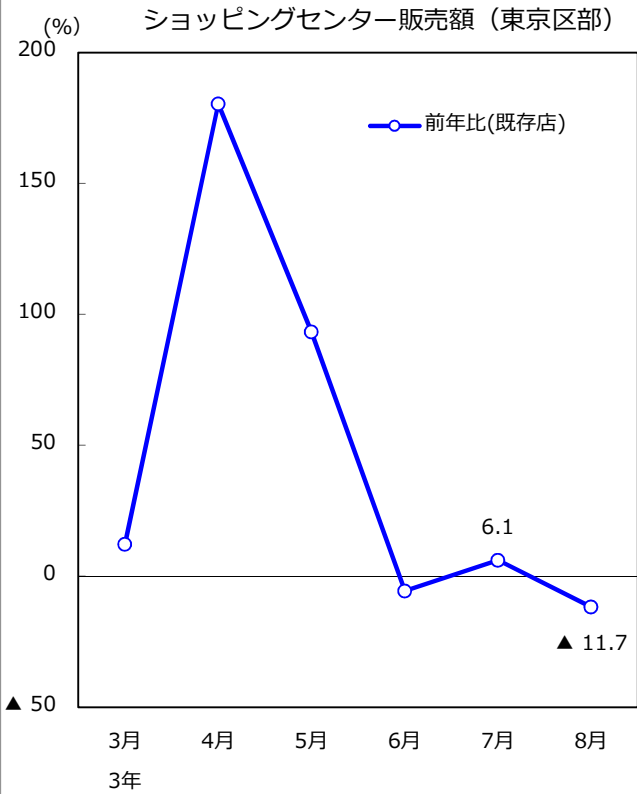
【グラフ5】



【グラフ6】

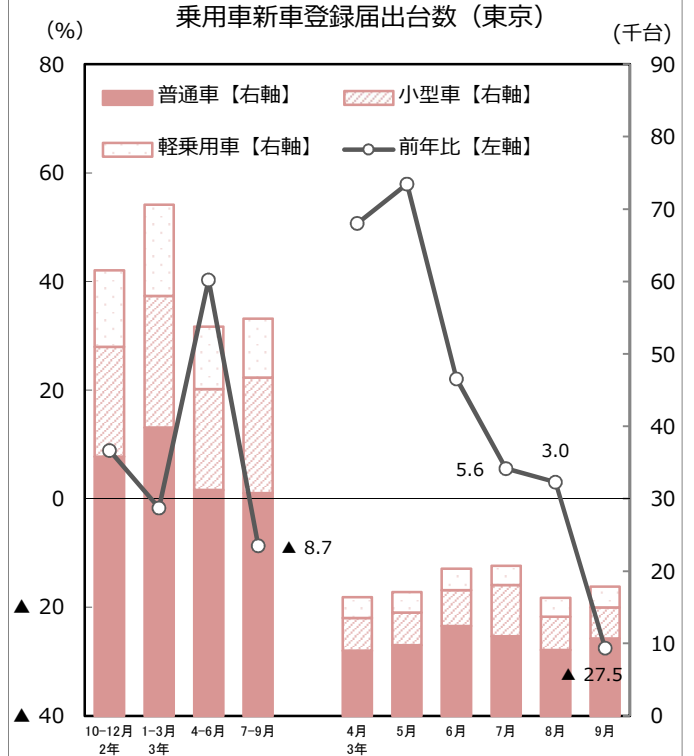


【グラフ7】



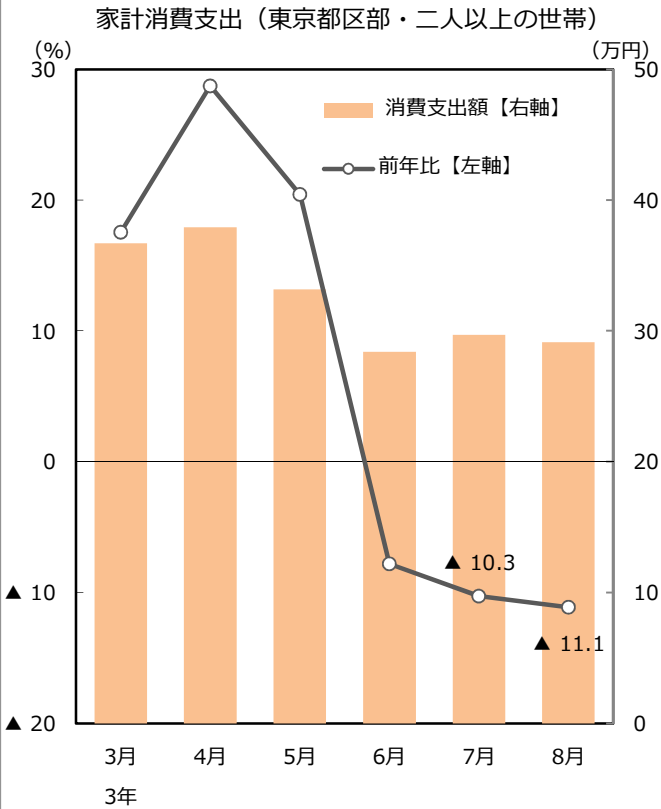
【日本ショッピングセンター協会】

【グラフ8】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

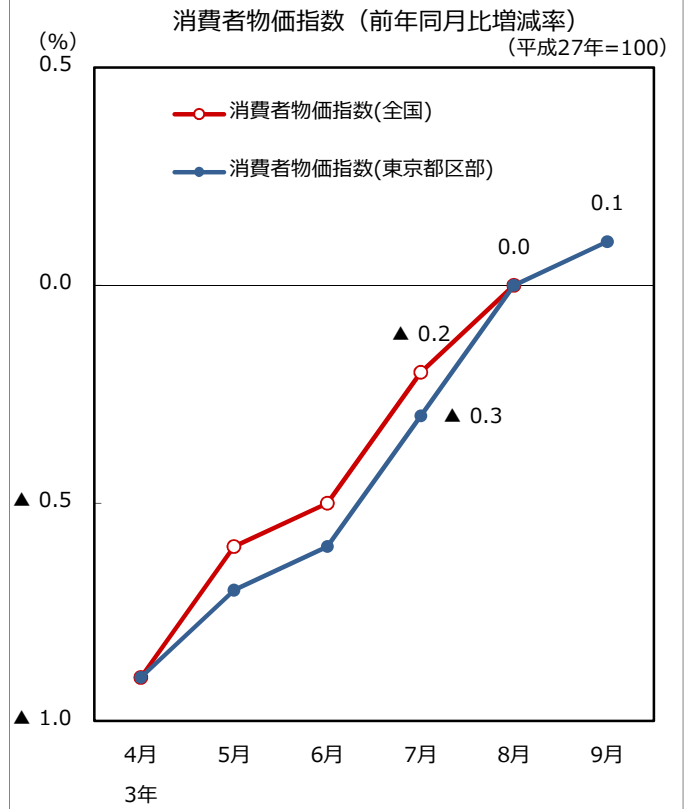
【グラフ9】



※農林漁家世帯を含む。

【総務省】

【グラフ10】



※生鮮食品を除く総合、東京都区部の最新月は速報値

【総務省】

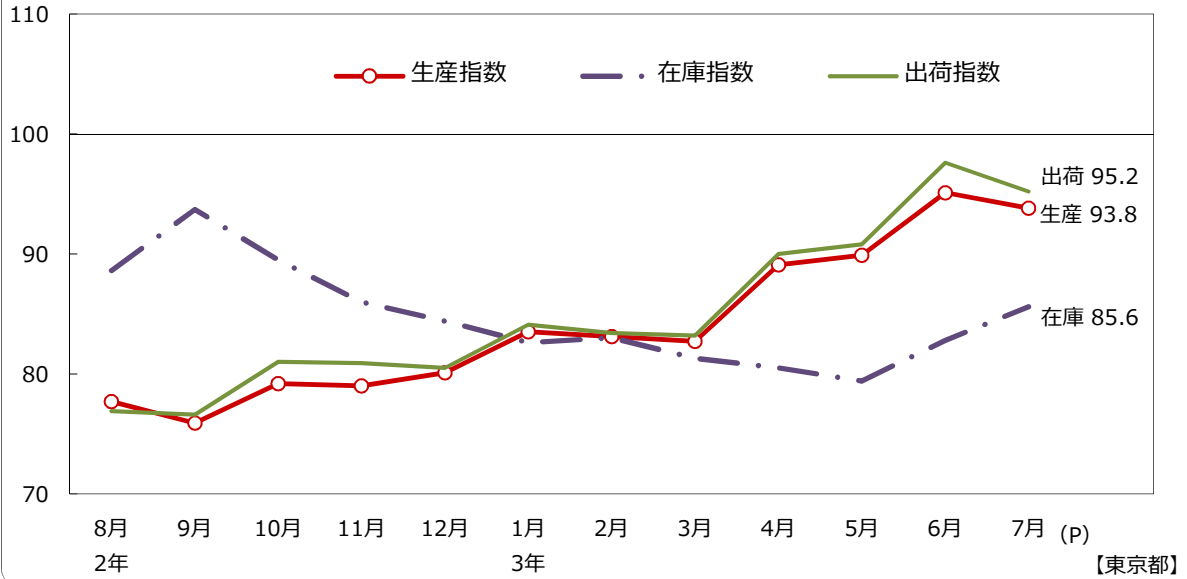
2. 産業活動

※ Pは速報値

【グラフ11】

(指数) 平成27年=100

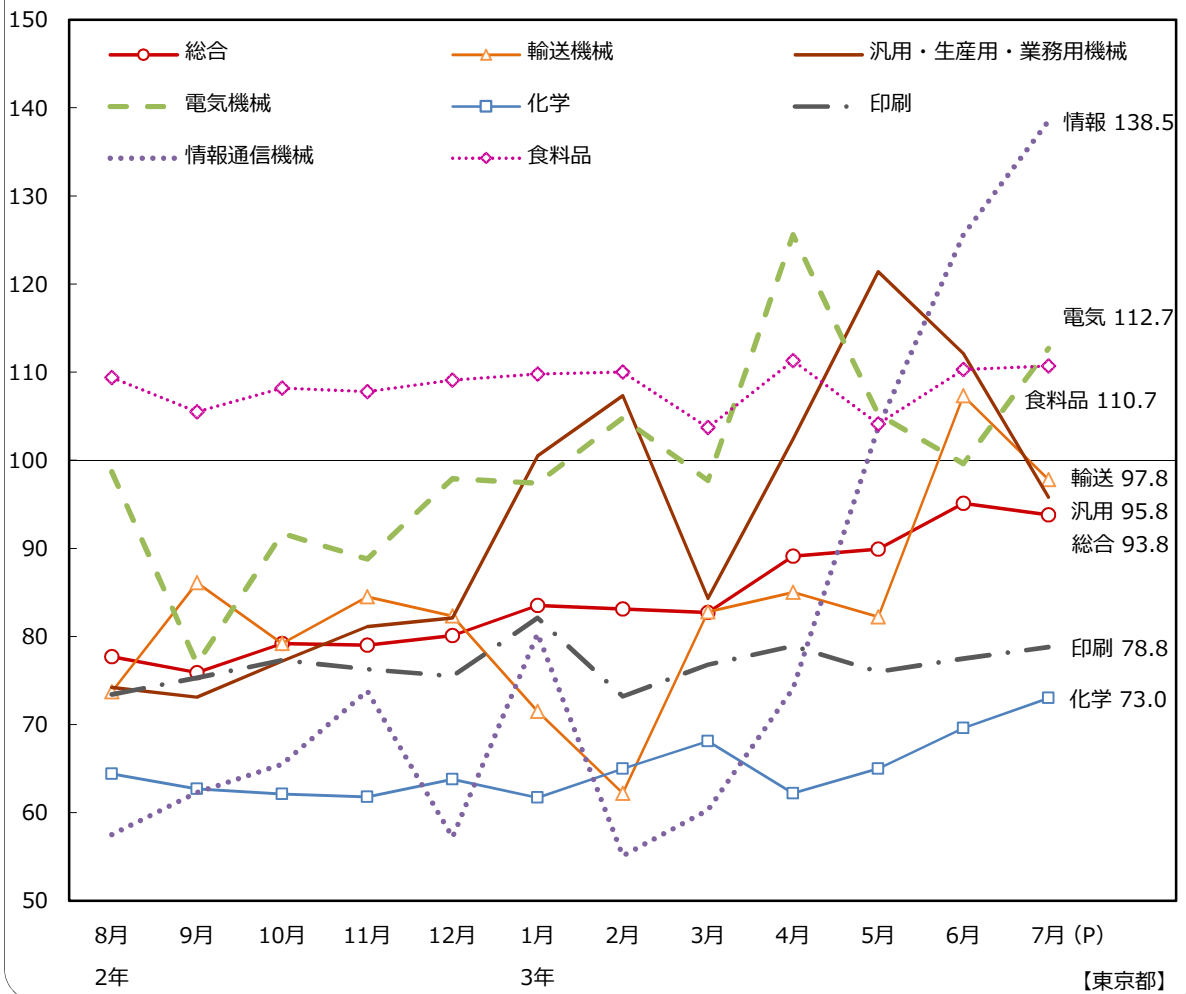
東京都工業指数 (季節調整値)



【グラフ12】

(指数) 平成27年=100

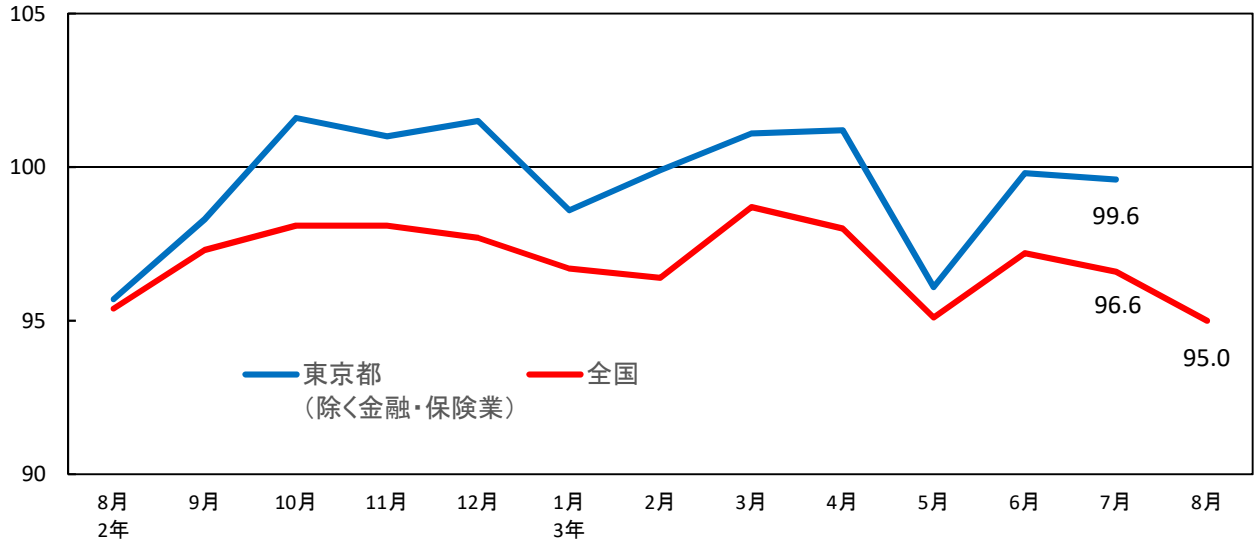
工業生産指数 (業種別・季節調整値)



【グラフ13】

第3次産業活動指数(季節調整値)

(指数) 東京都:平成22年=100
全 国:平成27年=100

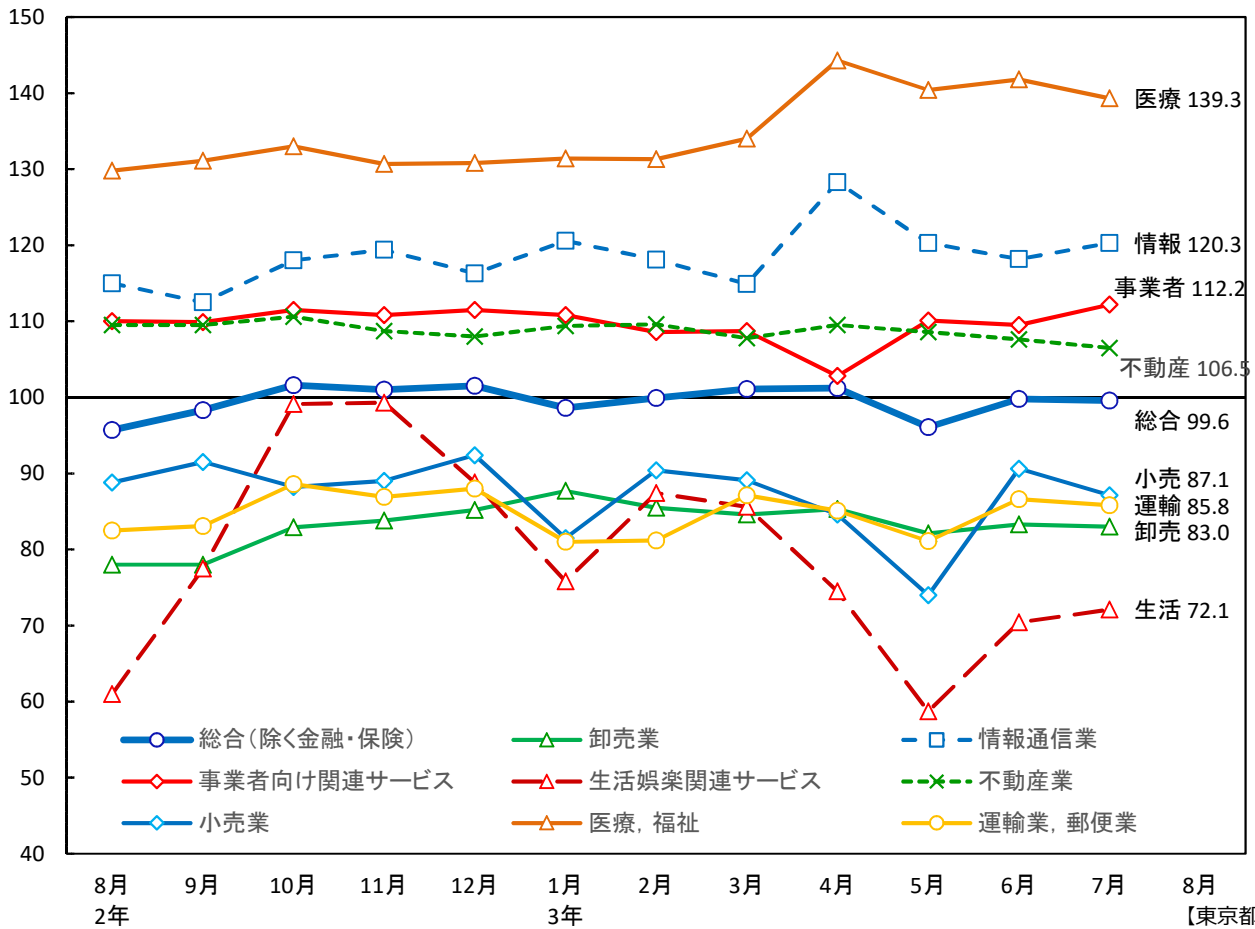


【経済産業省、東京都】

【グラフ14】

東京都第3次産業活動指数(業種別・季節調整値)

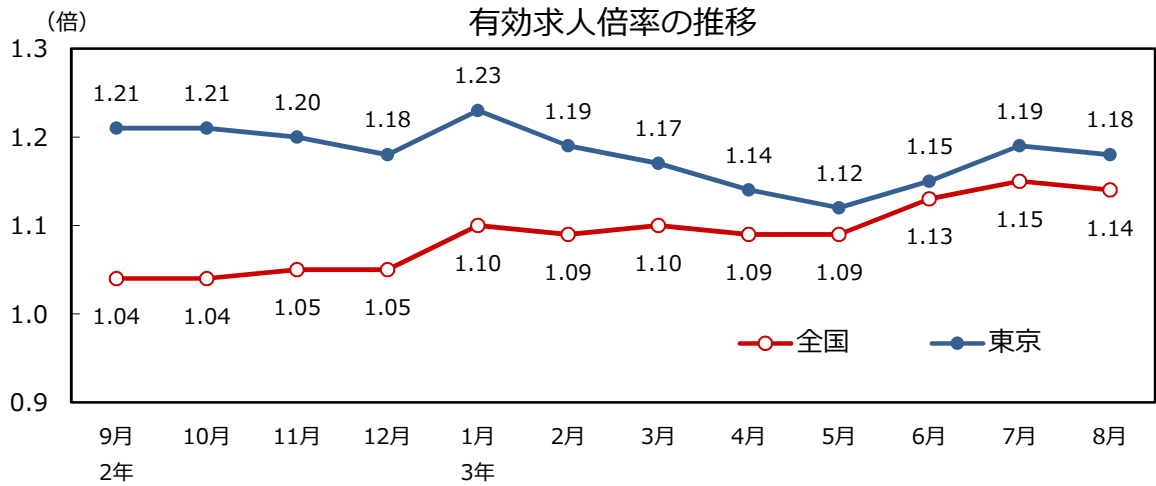
(指数) 平成22年=100



【東京都】

3. 雇用情勢

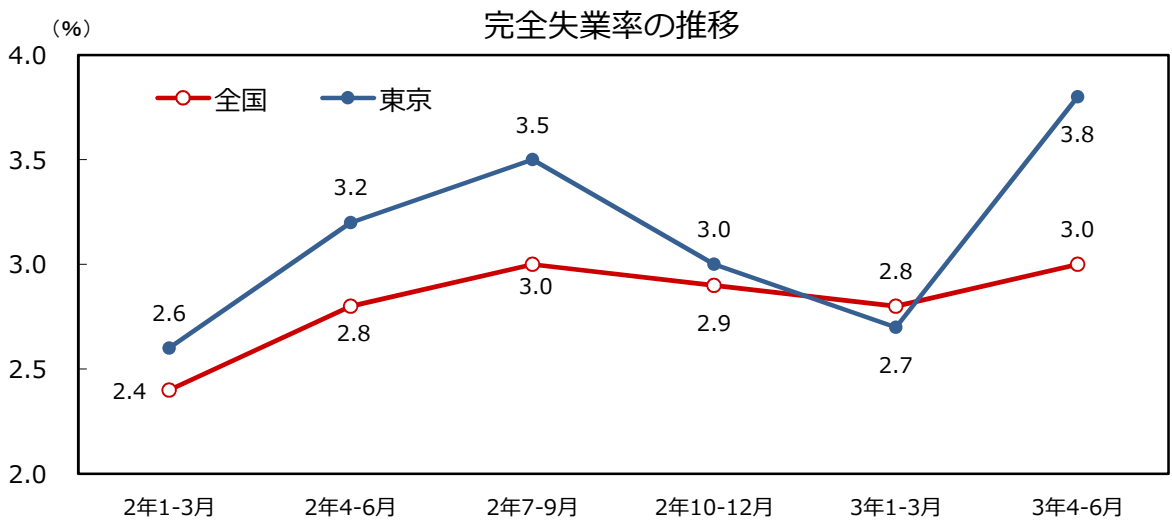
【グラフ15】



※季節調整値、パートを含む

【厚生労働省】

【グラフ16】

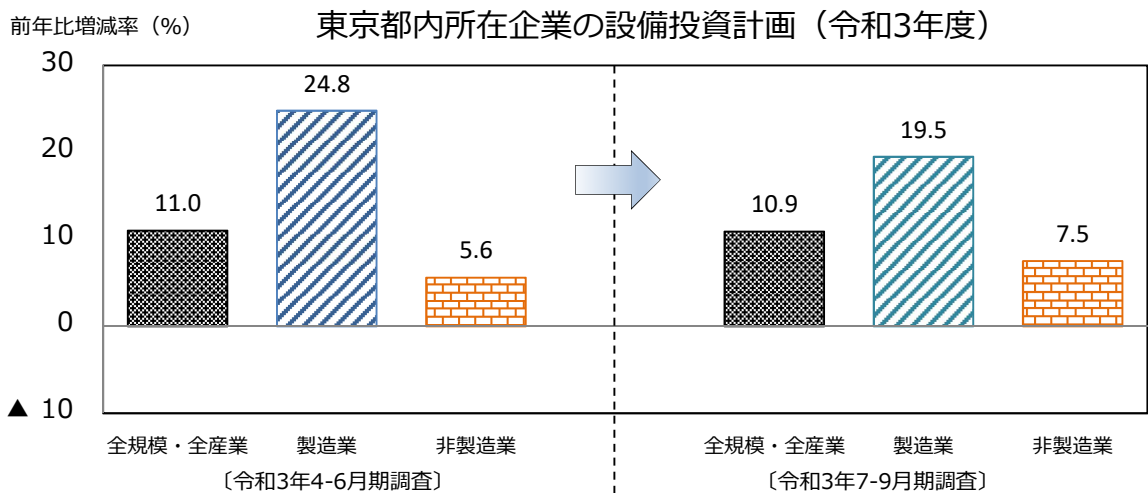


※原数値

【総務省】

4. 設備投資

【グラフ17】

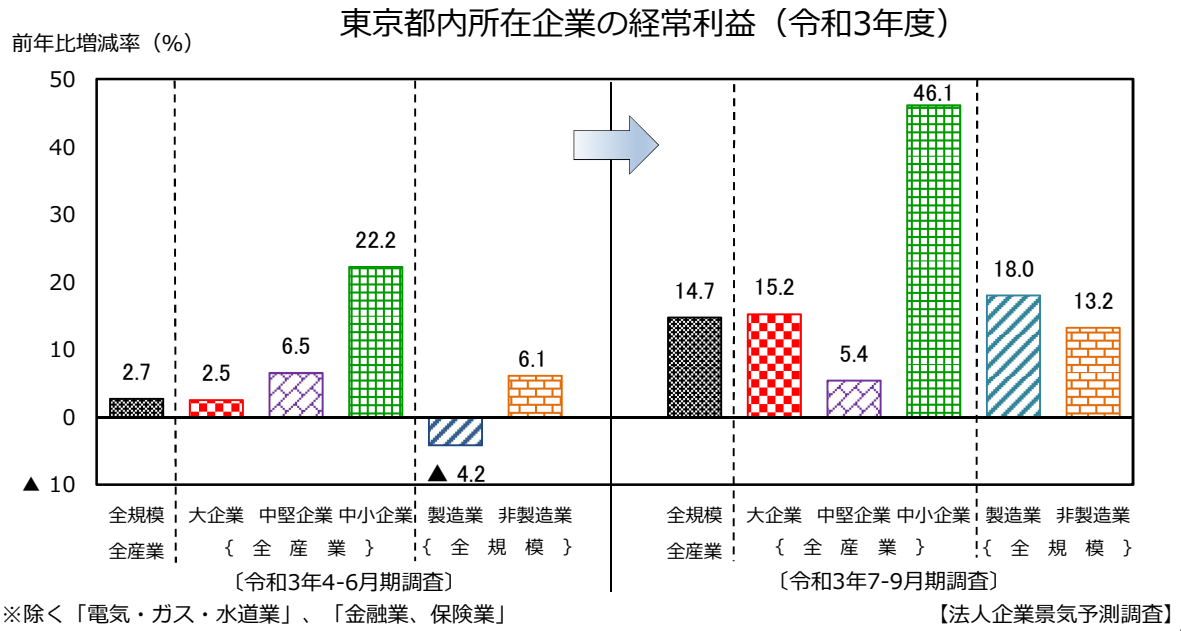


※除く土地購入額、含むソフトウェア投資額

【法人企業景気予測調査】

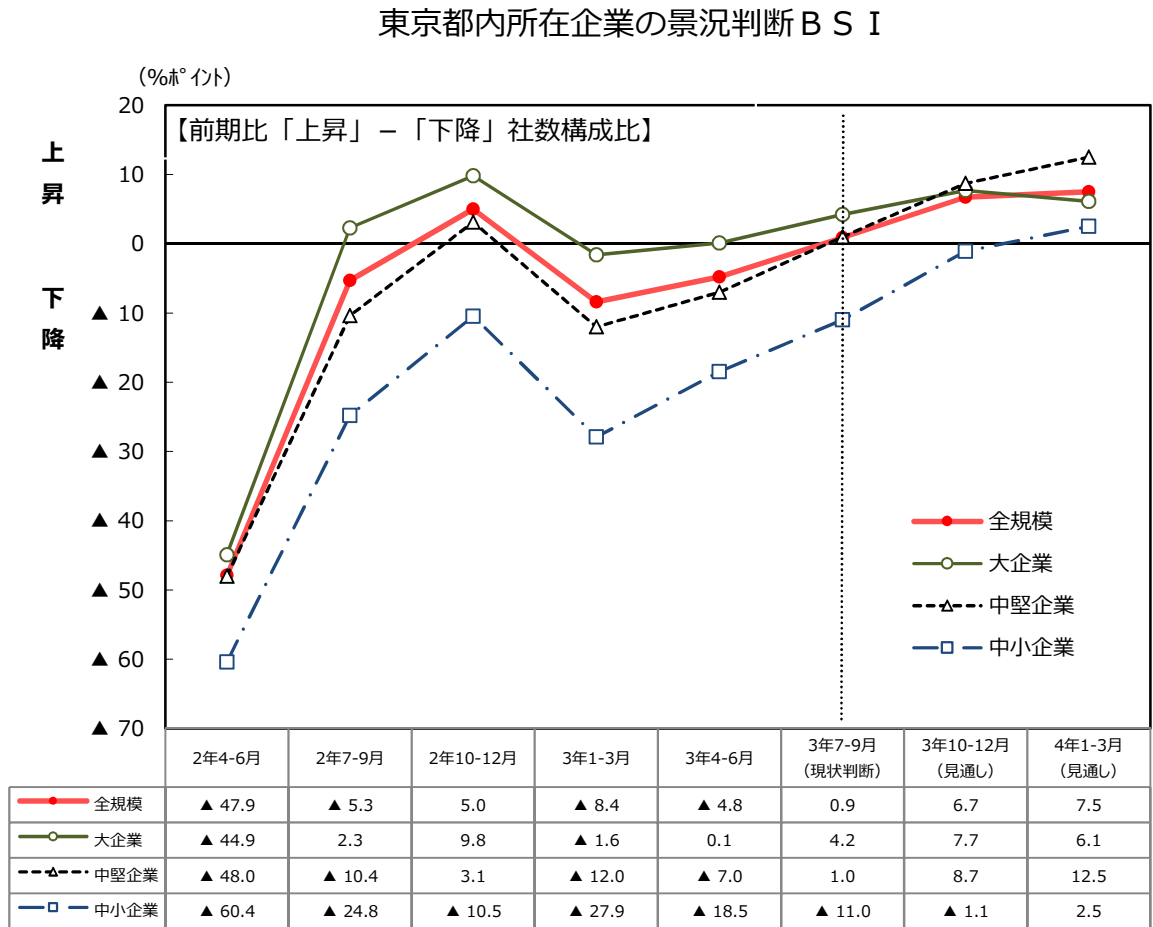
5. 企業収益

【グラフ18】



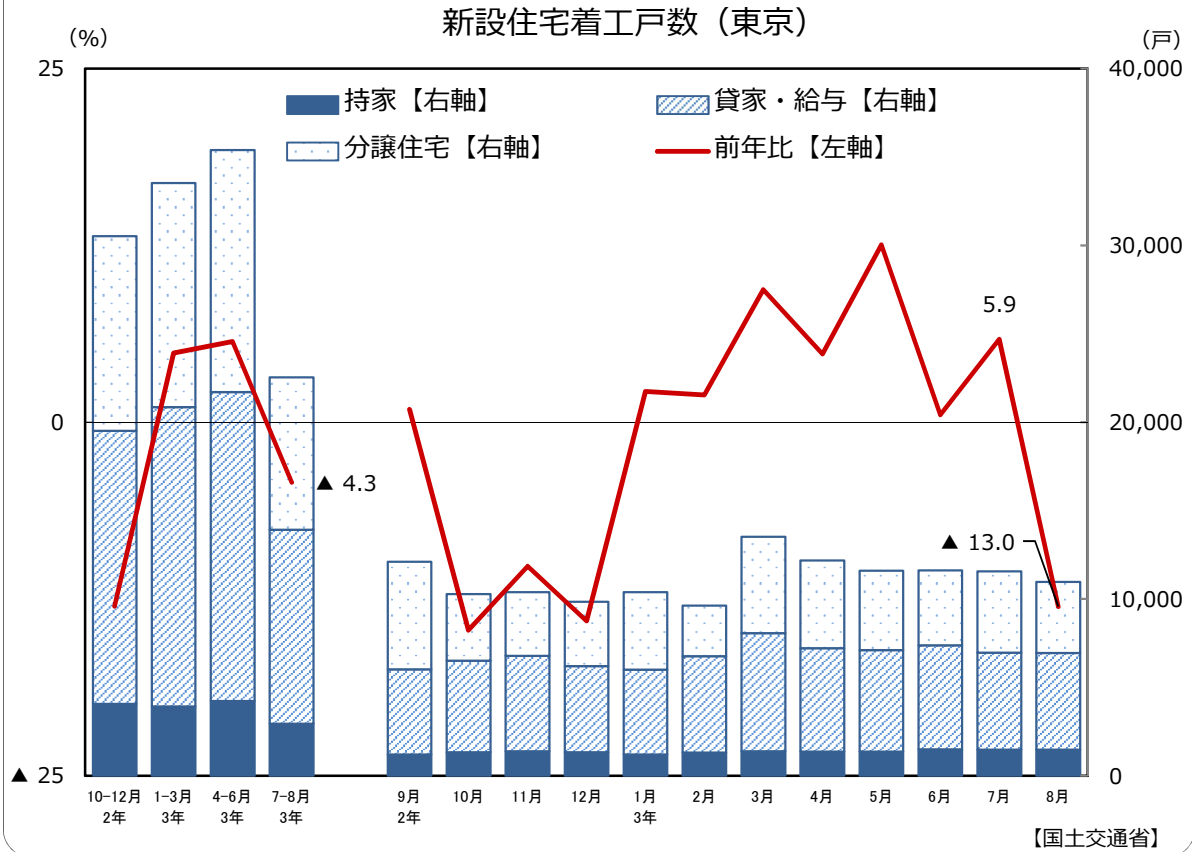
6. 景況感

【グラフ19】



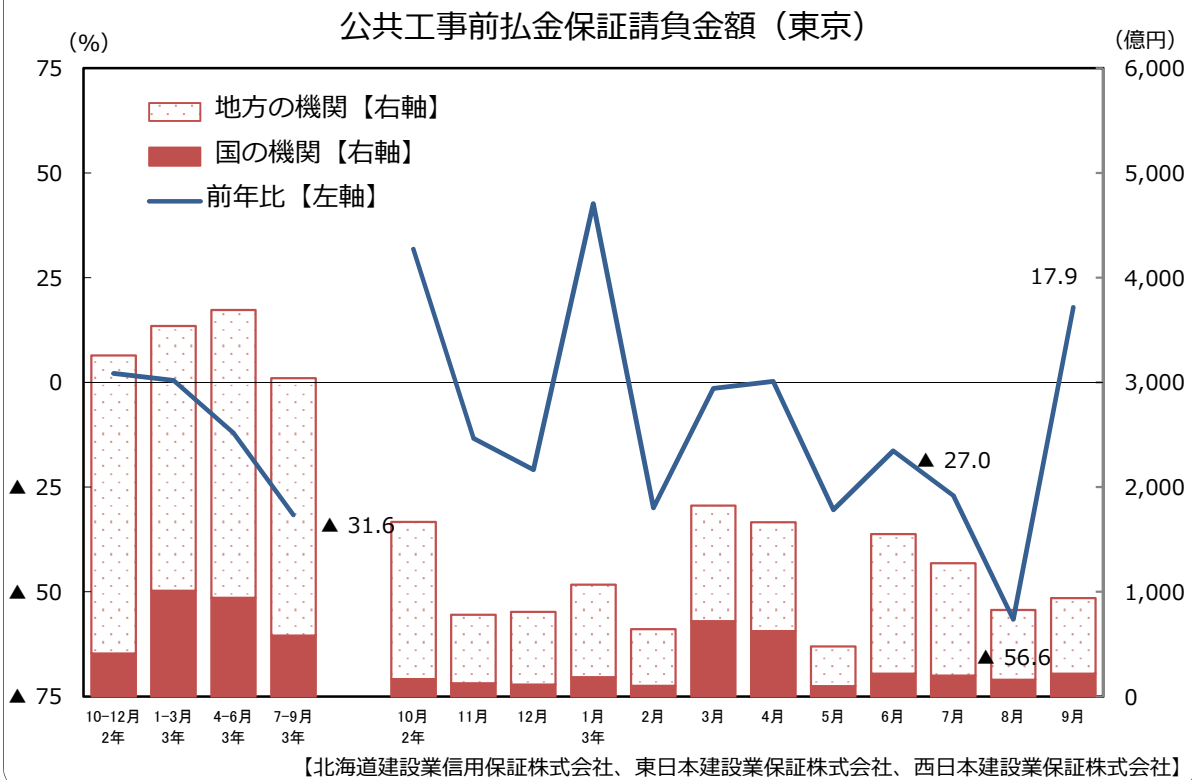
7. 住宅建設

【グラフ20】



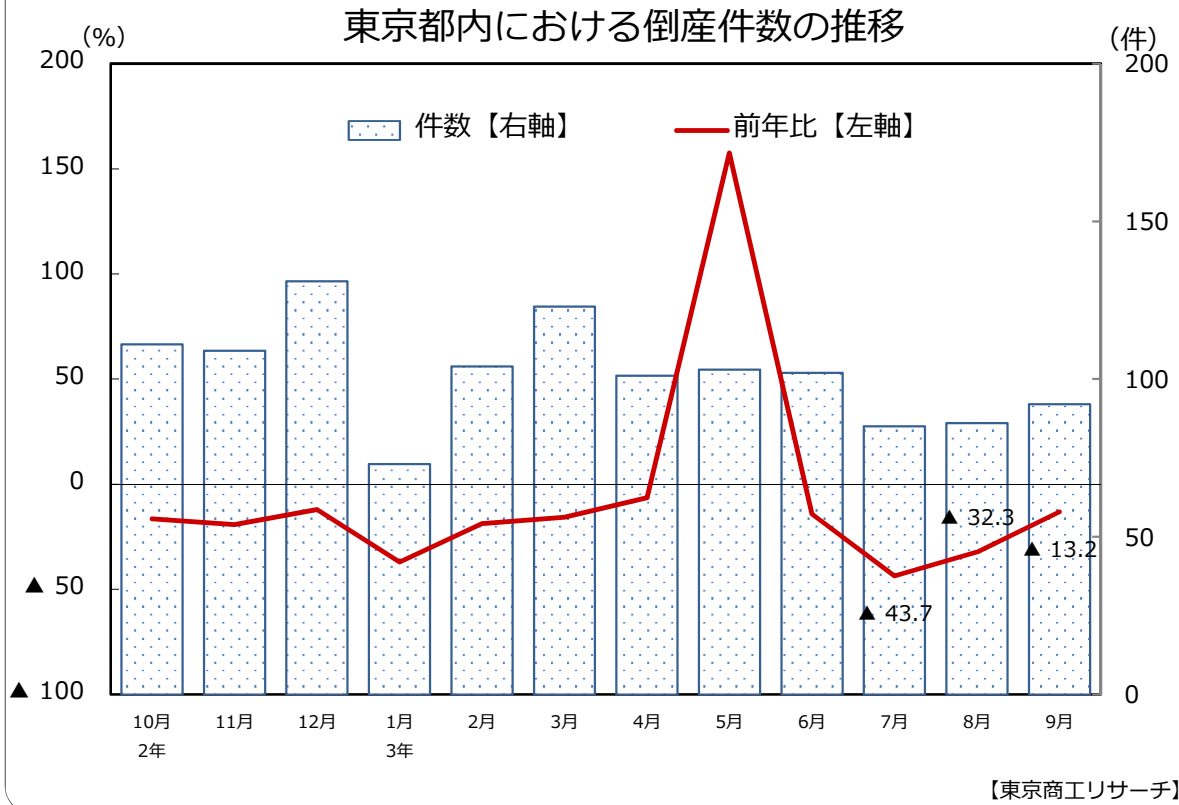
8. 公共事業

【グラフ21】



9. 企業倒産

【グラフ22】



【グラフ23】

